

日頃、皆さまには格別のご愛顧をいただき厚く御礼申し上げます。

J Aあいら伊豆は、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当 J A に対するご理解を一層深めていただくために、当 J A の主な事業の内容や組織概要、経営の内容などについて、利用者のためにわかりやすくまとめたディスクロージャー誌「2014 J A あいら伊豆現況のご報告」を作成いたしました。

皆さまが当 J A の事業をさらにご利用いただくための一助として、ご一読いただければ幸いです。

さて、平成 25 年度の日本経済は、デフレ脱却に向けた安倍政権の施策が、徐々に浸透しはじめた 1 年となりました。一方、農産物の価格低迷や T P P 交渉の進捗状況等、農業を取り巻く情勢は、一段と厳しさを増しています。

このような中、3 年計画「～協同の力、未来への躍進～」の最終年度にあたり、協同組合の理念に基づき、農業経営の安定、豊かな地域社会の実現、健全経営の確立をめざし各事業に取り組んでまいりました。

管内の農業におきましては、農業所得の向上を図るため、市場出荷から、いで湯っこ市場・下多賀直売所主体とした販売への比重を増やすとともに、管内農産物や加工品を広く県内外へ P R すべく、伊東マリンタウンに新規出店もいたしました。また、農業を主軸とした豊かな地域作りの実践にあたり、「1 支店 1 協同活動」を通じ、食農教育や地域貢献活動に取り組むなど、地域との「絆づくり」に取り組み、今後も様々な活動を展開してまいります。

施設面におきましては、伊東市吉田に 3 カ所目となる葬祭ホールを 5 月にオープンしました。支店機能強化に向けた取り組みとして、熱海支店の移転、荻支店のリニューアルオープンと営業時間の延長など、組合員の皆さまの利便性向上に向けた取り組みを進めてまいりました。今後も時代の変遷と共に、広い視野を持って取り組んでまいります。

平成 25 年度の決算につきましては、管内の経済情勢が厳しい中、税引前当期利益で 1 億 200 万円を確保することができました。これも皆さまのご協力の賜物と感謝申し上げます。

平成 26 年度は、新たな 3 年計画「～次代へつなぐ協同の力～」をスローガンに、健全経営と信頼性の確保に向け、組合員の皆さまの負託に応えるべく取り組んでまいりますので、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成 26 年 7 月

代表理事組合長 土屋 壽良